

青森県産ほたての学校給食への無償供給について

1. 概要

東京電力福島第一原発からの処理水海洋放出を巡る中国の水産物全面禁輸措置を受け、青森県は、国の「多核種除去整備等処理水風評影響対策事業補助金」を活用し、「青森県ホタテガイ流通緊急支援パッケージ」を実施、その一環として、学校給食での消費拡大のため、県内小中学校等の学校給食への青森県産ほたての無償供給を実施するもの。

2. 学校給食に係る事業内容

- (1)対象者 県内の小中学校と特別支援学校計 397 校の児童生徒・教員
(大間町、佐井村、風間浦村を除く)
- (2)数量等 各学校 2 回まで、各回 1 人当たり 50g 上限
- (3)対象商品 冷凍ボイルベビーほたて
- (4)提供時期 令和 5 年 12 月から令和 6 年 2 月まで

3. 八戸市の活用状況

市内 65 校の児童生徒・教職員約 17,300 人分のほたて計 950kg を活用予定。

給食センター	献立及び使用予定日
北地区給食センター	・白菜のシチュー (令和6年2月2日) ・ほたてと野菜のだし活みそ汁(令和6年2月13日)
東地区給食センター	・ほたてと野菜のだし活みそ汁(令和6年2月15日) ・白菜のシチュー (令和6年2月28日)
西地区給食センター	・ホワイトシチュー(A:令和6年2月7日、B:令和6年2月9日) ・ほたて汁(A:令和6年2月19日、B:令和6年2月20日)

青森県ホタテガイ流通緊急支援パッケージ

令和5年9月13日
青森県

県は、8月末からの水産品の禁輸措置等による影響を緩和するため、県産ホタテガイの流通に対する緊急支援パッケージを構築し、これまで県産品の販路拡大に向けた取組で繋がりを築いてきた国内外の小売業者やパートナー企業等の協力を得ながら、販路の確保や商談会の開催、学校給食での県産ホタテガイ利用機会の拡大による消費喚起、海外でのプロモーションなどに、関係団体等と連携しながら取り組みます。

【担当部局】国内：農林水産部 海外：観光国際戦略局

【国内対策】販路確保及び消費拡大

1 つながりの強い小売業への取扱い要請

県内のスーパーマーケット21社、県外量販店11社、県外大手水産会社2社、EC企業1社、産地直売施設等24か所に対して、取扱いの拡大と消費者へ消費拡大を呼びかけるよう文書で要請

2 今後予定されている「青森県フェア」での取扱い

○ 県外量販店等15社で開催する「青森県フェア」（10～1月）において県産ホタテガイの販売促進活動を展開

○ ホタテガイ加工業者に対して、県外量販店等との商談会への参加を誘導

3 学校給食での消費

○ 国の基金を利用し、県漁連等を通じて学校給食会へホタテガイ加工品を供給



【海外対策】輸出先の転換及び販路開拓・販売強化

1 輸出先の転換

【本県独自】台湾を有望先と見据えた需要拡大対策

- 県農林水産物輸出促進協議会による集中プロモーション
12～2月 ・台北市内4店舗での店頭プロモーション
・現地バイヤー等との意見交換 等

【国の政策パッケージ】輸出先転換対策（予備費207億円の内）の代替販路開拓事業と連携

- 海外バイヤーとのビジネスマッチング・越境Eコマース等
- 海外一般消費者向けに食材の魅力を情報発信、消費喚起等

2 販路開拓・販売強化

- ジェトロ青森と連携した販路開拓支援（予定）
9月28日 海外に販路を持つ国内バイヤーとのオンライン商談会
10月 海外（タイ）バイヤーによる県内視察
12月 海外バイヤー招請商談会

- パートナー企業と連携したプロモーション（予定）
【台湾】現地レストランチェーン店でのフェア展開（12～1月）
【香港】日系スーパーマーケット（12月）、日系外食チェーン店（1～2月）でのフェア展開
【タイ】日本食レストラン、日系スーパーマーケットでのフェア展開（12月）
【米国】日系スーパーマーケットでのフェア展開（2月）

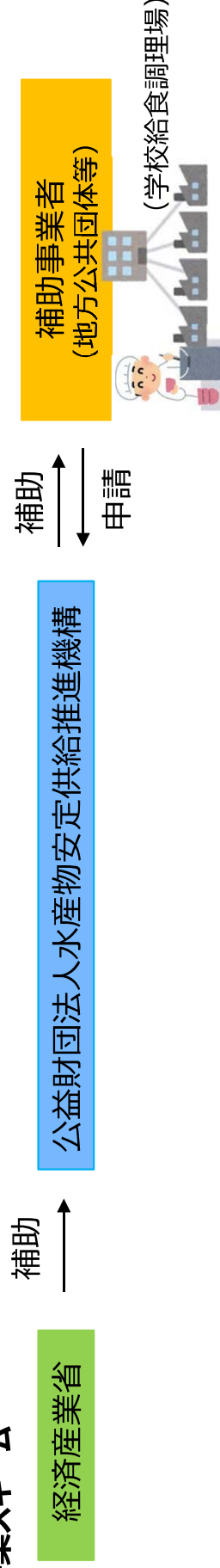
多核種除去設備等処理水風評影響対策事業（ALPS300億円基金）

ALPS処理水の海洋放出に伴い、万一水産物の需要減少等の風評影響が生じた場合でも緊急避難的措置として、水産物の販路拡大や、冷凍可能な水産物の一時的買取り・保管等を支援。

<学校給食型>

概要	漁業者団体等が行う、 <u>学校給食等へ水産物を提供する取組を支援</u>
対象とする水産物	<u>申請直前の1か月以上の期間における卸売市場等の取引価格が、ALPS処理水放出以前の同期間の価格と比較して原則7%以上下落している水産物</u> であって、ALPS処理水の海洋放出に伴う風評影響を受けていると認められる <u>水産物</u>
申請者の要件	農林漁業者の組織する団体、商工業者の組織する団体、第三セクター、民間事業者、 <u>地方公共団体</u> 、公益社団法人、公益財団法人、一般社団法人、一般財団法人、特定非営利活動法人、企業組合、事業協同組合、事業協同組合連合会、独立行政法人、その他法人格を有しない団体で機構が必要と認める団体
補助対象経費	<u>学校給食等への食材提供に必要な賃金、需用費、役務費、加工費、賃借料及び使用料、委託費、通信運搬費、対象水産物の調達費等</u>
補助率	10/10
補助金額	上限1億円 下限100万円（子ども食堂については、上限3,000万円 下限50万円）ただし、 <u>各回1人あたりの対象水産物の調達費に係る補助金は上限1,000円</u> として、 <u>各施設における実施回数は原則2回まで</u> とする
事業実施期間	最長6か月

※事業スキーム



各市町村教育委員会学校給食主幹課長 殿

青森県農林水産部総合販売戦略課長
(公 印 省 略)

学校給食へのホタテガイ加工品の提供に係る使用可能量調査について（照会）

県では、中国政府による日本産水産物の禁輸措置に伴い、在庫が滞留している県産ホタテガイ加工品の利用促進を図るため、国の多核種除去設備等処理水風評影響対策事業補助金の活用により学校給食での消費拡大に取り組むこととし、現在、県、公益財団法人青森県学校給食会及び青森県漁業協同組合連合会が連携して、事業の申請作業を進めているところです。

当該事業を円滑に実施するため、事前に事業内容やスケジュール等をお知らせするとともに、使用可能量を把握する必要があることから、下記のとおりホタテガイ加工品の使用可能量について、御回答くださるようお願いいたします。

記

1 事業内容

学校給食への県産ホタテガイ加工品の無償提供

- (1) 対象者 児童生徒・教員
- (2) 数量等 各学校2回まで、各回1人あたり50g程度
- (3) 対象商品 冷凍ボイルベビーほたて
- (4) 提供時期 令和5年11月～令和6年2月を予定（後日、令和5年12月～に変更）
- (5) 提供方法 (公財) 青森県学校給食会から納品

2 使用可能量調査について

- (1) 調査様式 別添のとおり
- (2) 回答方法 各市町村教育委員会から下記担当へ直接メールで回答
- (3) 回答期限 令和5年10月20日（金）
- (4) 留意事項
 - ・県産ホタテガイ加工品の利用促進が主な目的であることから、可能な限り2回の実施と1人あたり50gの使用を検討してください。
 - ・国の多核種除去設備等処理水風評影響対策事業補助金の活用を予定した申請作業中のため、事業内容の変更や中止となる場合があることもご了承ください。

3 今後のスケジュール・手続き

- (1) 10月20日 調査票提出期限
- (2) 10月下旬 調査票に基づき、供給計画を作成し、国に本申請
- (3) 11月上旬以降 国から計画承認

- (4) 11月上旬以降 県から各市町村教育委員会へ供給計画（供給日・量等）を通知後、各市町村教育委員会は11月以降の供給希望日に合わせて（公財）青森県学校給食会へ発注
- (5) 11月～翌2月 県産ホタテガイ加工品を使用、納品確認

4 その他

- (1) 今回の無償提供分の費用は、納品業者から公益財団法人青森県学校給食会宛てに請求され、各市町村教育委員会への支払書類は生じません。
- (2) 本事業について、御不明な点は、下記担当までお問い合わせください。

担当:食品産業振興グループ 主幹 油野 晃 TEL:017-734-9456(直通) FAX:017-734-8158 e-mail : akira_aburano@pref.aomori.lg.jp
--

2023
企画展
Winter

令和5年度 是川縄文館冬季企画展

縄文 かたちの美

- 是川遺跡の土製品 -



縄文時代の遺跡からは、土偶や土版、イモガイ状土製品など、さまざまな形をした土製品がみつかります。

本企画展では、その中でも是川遺跡からみつかったものを集め、土製品の形や模様デザインの多様さについて紹介します。

2023

2024

12.16(土) >>> 3.24(日)

八戸市埋蔵文化財センター
是川縄文館

〒031-0023 青森県八戸市大字是川字横山1
TEL: 0178-38-9511 FAX: 0178-96-5392
<https://www.korekawa-jomon.jp>

開館時間：午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

休館日：12月18, 25, 27～31 1月1～4, 9, 15, 22, 29
2月5, 13, 19, 26 3月4, 11, 18, 21

観覧料：通常料金でご覧になれます



令和5年度 是川縄文館考古学講座（後期）

縄文時代の 土偶・土製品

12月から3月にかけて開催する冬季企画展「縄文・かたちの美—是川遺跡の土製品—」にあわせ、縄文時代の土偶や土製品について学びます。

第1回

12/16(土)

講師：金子 昭彦 氏

（岩手県立博物館 学芸第三課長）

「遮光器土偶の流行学

—考古学の編年で土偶の変化を明らかにする—」

第2回

1/20(土)

講師：児玉 大成 氏

（青森市教育委員会事務局 文化遺産課 文化財保護チームリーダー・主幹）

「青森県を中心とした

縄文時代後半期の土製品について」

第3回

2/10(土)

講師：瀬口 眞司 氏

（公益財団法人滋賀県文化財保護協会 総務課企画室長）

「円筒上層式土器に描かれた土偶の正体」

会場：是川縄文館1階 体験交流室

時間：14時～16時 聴講無料・要申込（定員100名）

※定員に達し次第、受付を終了しますのでお早目にお申込みください。

※社会情勢等により、講座の中止や延期、講演方法の変更をすることがございます。

お申込み・お問合せは

八戸市埋蔵文化財センター
是川縄文館

〒031-0023 八戸市大字是川字横山1
<https://www.korekawa.jomon.jp/>

TEL：0178-38-9511



みなさんのご参加
まっけるんっ



図書館の休館について

1 八戸市立南郷図書館の休館について

(1) 休館期間

令和6年1月15日（月）～1月31日（水）

(2) 休館理由

南郷図書館の蔵書点検及び成人開架室天井の補修工事のため

2 八戸市立図書館の休館について

(1) 休館期間

令和6年3月1日（金）～令和6年7月31日（水）予定

(2) 休館理由

図書館（1階及び2階）の冷房設備等の更新工事のため

※工事内容：冷房設備更新、照明器具のLED化、防犯カメラ設備更新

(3) 休館中のサービス

① 移動図書館車での臨時貸出

日 時：令和6年4月～7月 月5回程度（予定）

9時30分～16時

場 所：図書館本館車庫

② 新聞・雑誌等の閲覧

期 間：令和6年3月5日（火）～令和6年7月31日（水）（予定）

詳細日時については決まり次第公表します。

場 所：YSアリーナ八戸

閲覧資料：当日から1週間分の新聞（一部）、最新号の雑誌（一部）、
住宅地図「八戸市（南部・北部）2023」のみ

③ おはなし会の開催

期 間：4月～7月（予定） 毎週土曜日

詳細日時については決まり次第公表します。

場 所：八戸ブックセンター

④ 移動図書館車の巡回

49か所のステーションを月1回巡回（通常どおり）

(4) その他

- ・ 図書館事務室は市庁本館4階（会議室A・B）へ移転